

平成30年10月28日
今週のベストショット



奈多グラウンド 三友クラブ 対 ソルトベ이스ターズ戦
三友クラブ一平田選手が4打数4安打2打点の活躍で快勝！
写真：レッドサンデーズ 古賀 開

青松園A フレンズ、試合序盤で試合を決める。

和白新町パイレーツ（4勝6敗）00024 6 沖田●、牟田一・小林、沖田
三苦フレンズ（10勝2敗）25100× 17 山口○、生野（拓）、太田一・佐藤

HR：吉村（雄）（三苦フ）、牟田（新町パ）3BH：佐藤（由）2BH：山口、御手洗（介）、篠原（三苦フ）

両チームに満塁ホームランが飛び出す打撃戦となったこの試合、一回裏フレンズは、パイレーツ先発沖田投手の立ち上がりを攻め二死二三塁とした後、佐藤（博）のセンター前で幸先良く2点を先制する。続く二回裏には先頭打者佐藤（由）選手が左中間三塁打を放つと相手投手のWPで1点追加。また、松尾・御手洗（介）選手のヒットからチャンスを作ると内野ゴロの間に1点。さらに山口選手の二塁打で二三塁のチャンスを作り五番佐藤（博）のレフト前ヒットで2点。この回に5点を取り試合を優位に進める。三回裏には八番松田選手のライト前ヒットから6連続ヒットで5点。さらには代打吉村（雄）選手のレフトオーバー満塁HR等で一挙10点を取る。相手パイレーツも三回までパーフェクトに抑えられていたが、四回表二番八坂選手のレフト前ヒットと3死四球、犠飛で2点を返し、五回表には三番牟田選手の満塁HRで4点返すも序盤の失点が響き追いつくまでとはいかなかった。（記事：新町ウインズ 大久保 浩、写真：早田 主大）



整列するパイレーツナイン。



整列するフレンズナイン。



フレンズ先発の山口投手。



パイレーツ先発の沖田選手。



二回裏、三塁打を放ったフレンズ佐藤（由）選手。



打球に飛びつくパイレーツ八三塁手。



打球を処理するパイレーツ白岩二塁手。



白岩二塁手が飛びつくも僅かに及ばず



打者9人に対し、8三振を奪った山口選手。



四回裏からマウンドに上がった生野（拓）選手。



フレンズ三番手の太田投手。



三回裏、ダメ押しの満塁本塁打を放った吉村（雄）選手。



五回表、満塁ホームランを放ったパイレーツ牟田選手。



試合中のパイレーツベンチの様子。

奈多グラウンド 16安打13点四回コールド！平田選手4打数4安打2打点でけん引

三友クラブ (3勝8敗1分) 2 7 3 1 13 足達○-駄原

ソルトベ이스ターズ (4勝8敗) 0 0 0 0 0 黒崎●-酒井

HR: 中内 (三友ク) 盗塁: 三坂 (ソルト)

一回表三友クラブは、一番平田選手のライト前ヒットで出塁すると、二死三塁となり、四番中内選手が右中間に2ランホームランを放つ。続く、二回表も一死満塁の場面となると、一番平田選手のレフト前ヒットで1点、三

番矢野選手のセンター前ヒットで2点、四番中内選手センター前ヒットで1点、五番松尾選手ライト線二塁打で2点、六番山本選手ライト前ヒットで1点とこの回打者一巡で一挙に7点を追加。三回表には死球、四球、内野安打で満塁とする二番駄原選手の内野ゴロの間に1点、三番矢野選手がライト前ヒットで、2点。四回表は、一死一二塁とし、この日4本目となる一番平田選手のライトオーバーで1点と三友クラブは16安打の猛攻で13点を挙げ大勝した。(記事：レッドサンデーズ 前田 篤史、写真：古賀 開)



ソルトベスターズ先発の黒崎選手。



三友クラブ先発の足達選手。



本日4打数4安打の大活躍三友クラブ一番平田選手。



一回表、本塁打を放つ三友クラブ四番中内選手。



本日2安打4打点の三友クラブ松尾選手。



一回裏鋭い当たりで安打を放つソルトベスターズ酒井選手。



二回、四回と二塁打を放つソルト新尾選手。



三回裏安打を放ち、盗塁を決めたソルト三坂選手。



四回裏、代打でチームを盛り上げるソルト迫選手。



ピンチを凌ごうとマウンドに集まるソルトナイン。

青松園B 勝負の行方は終盤に！

塩浜ジャガーズ (5勝8敗) 0010003 4 内田○-小金丸
 奈多フェニックス (6勝5敗) 0100002 3 今林(勇)●-実延(新)

2BH: 内田(塩浜)、福島(奈多フ)

奈多フェニックスは二回裏、先頭の五番今林(勇)選手が三塁手への強襲安打で出塁すると続く六番実延(新)選手が犠打を決め得点圏に走者を進める。その後二死二塁となるが、八番香山選手の内野安打の間に二塁走者の今林(勇)選手が生還。フェニックスが1点を先制する。しかし、直後の三回表フェニックスは投内関係のミスで先頭の一番石内選手をいきなり二塁まで進めてしまうと、続く二番道喜選手にきっちり犠打決められ一死三塁。続く三番内田選手を遊ゴロに打ち取るも、その間に三塁走者の生還を許してしまいすぐに追いつかれてしまう。その後は両軍共に走者は出すものの得点があげられず、同点のまま最終回へ。そして七回表、ジャガーズは先頭の七番小金丸選手が左前安打で出塁する。なんとしても走者を進塁させたいジャガーズの八番福田選手が犠打を失敗するも途中出場の九番藤井選手が犠打を成功させる。二死を与えてでも得点圏に走者を進め、迎える打者は、今試合安打は放っていないものの前三打席でフェニックス先発今林(勇)投手の球を捉えつつある一番石内選手。一打勝ち越しといきたいジャガーズではあったが、ここでフェニックスバッテリーは敬遠四球を宣告。二死一二塁とし打席には二番道喜選手。凡退すれば流れは一気にフェニックスにいくところではあったが、道喜選手は四球を選びチャンスを広げる。二死満塁で三番内田選手の放った打球は右中間を破る二塁打。この一打で最終的には一塁走者の道喜選手も生還し3得点。しかしフェニックスもこのままでは終わらない。先頭の九番太田選手が中前打で出塁すると続く一番高原選手は四球、二番福島選手は内野安打で無死満塁とする。一発がわれ

ば逆転サヨナラの場面ではあったが、三番能丸選手は三振に倒れ、四番安藤選手は遊ゴロに倒れてしまう。それにより1点は返したものの、一三塁ではあるが二死まで追いつめられてしまう。しかし続く五番今林（勇）選手が中前打を放ち1点差。二死一二塁となり一打が出れば同点、長打が出れば逆転サヨナラの可能性がある場面で打席には代打実延（彰）選手。しかしあえなく三塁ゴロに打ち取られ試合終了。ジャガーズは内田投手の投打にわたる活躍によって勝利を手にして今シーズンを締めくくった。（記事・写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭）



フェニックス先発の今林（勇）投手。



一回裏、フェニックス二番福島選手の右前安打。



六回表、ジャガーズ五番藤崎選手の左前安打。



七回表、二死満塁で勝ち越し二塁打を放つジャガーズ三番内田選手。



七回表、ジャガーズ勝ち越しのホームイン。



七回裏、フェニックス二番福島選手のバントでどこにも投げられず内野安打となる。



本日のヒーロー（左から内田選手、道喜選手、水流監督）。

雁レクD サンデーズ毎回ホームラン、毎回得点での完勝

ブルーマーリンズ（10敗1分）00201 3 佐藤●ー井上

奈多サンデーズ（5勝5敗1分）3336× 15 砂場○ー野々下

HR：佐藤（ブルー）野々下、長濱、近藤、砂場（奈多サ） 盗塁：児玉（ブルー）

初回、ブルーマーリンズは二死から相手エラーと糸井選手のセンター前ヒットでチャンスをつかむも後続が倒れて無得点に終わる。その裏、奈多サンデーズは一死一二塁のチャンスをつかむと、四番野々下選手が佐藤投手の初球を完璧に捉えライトオーバーHRを打ち幸先よく3点を先制。ブルーマーリンズも何度か得点圏にランナーを進めながら、後一本が出ず砂場投手を攻略できない。しかし、三回表に佐藤選手のレフトオーバーの一発が飛び出し一矢報いる。だが、本日のサンデーズ打線には効果なし。二回裏に長濱選手、三回裏に近藤選手、四回裏に砂場選手がHRを放つ毎回の一発攻勢で得点を重ねると、さらには四回に打者一巡の攻撃をみせたサンデーズの完勝となり試合終了。朝の気温が急激に冷え込み、調整が難しい中での試合、両チームともにお疲れ様でした。

（記事：奈多クラブ 吉田 貴史、写真：）



一回裏、チームに勢いをつけるサンデーズ四番野々下選手の先制HR。



二回裏、サンデーズ一番長濱選手のセンターオーバーHR。



三回裏、サンデーズ六番近藤選手のセンターオーバーHR。



四回裏、サンデーズ二番砂場選手のラッキーな!? HR。



三回表、ブルーマーリンズ三番佐藤選手のレフトオーバーHR。



四回裏、代打で見事センター前ヒットのサンデーズ田村選手。



五回表、押し出しの四球を選んだブルーマーリンズ六番中村選手。



意地の2試合連続HRを放ったブルーマーリンズ佐藤選手。



本日見事HRを放ったサンデーズ野々下、長濱、近藤、砂場選手。

第23週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第23週、10月28日は4試合が行われました。

青松園Aの和白新町パイレーツ対三苦フレンズ戦は、先週の試合でエース山口投手不在でジャガーズ相手に敗れ優勝を逃したフレンズは、山口投手が初回から三回までパーフェクトピッチングを披露すると、打線も絶好調で三回までに17得点。一方的な試合となったが、パイレーツもフレンズ二番手生野（拓）投手を攻めて四回、五回で6点を返す意地を見せた。フレンズ吉村（雄）選手、パイレーツ牟田選手に満塁HRが飛び出すなど派手な試合は6-17でフレンズの圧勝。

奈多グラウンドの三友クラブ対ソルトベイスターズ戦は、初回から四番中西選手の一発で三友クラブ打線が爆発。16安打を集めてソルトベイスターズを粉砕。三友クラブ一番平田選手は4打数4安打と切り込み隊長として大活躍。ソルトベイスターズは六番新尾選手の二打席連続二塁いだなど6安打を放つも、三友クラブ足達投手を攻略するには至らず、13-0で三友クラブが制した。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対奈多フェニックス戦は、先週フレンズを止めたジャガーズが今週もその好調さを披露。1-1で迎えた最終七回、ジャガーズは二死満塁で三番内田選手が期待に応える二塁打等で3点をリードすると、その裏のフェニックスの追撃を2点に抑え、ジャガーズが4-3で勝利。ジャガーズは来年に繋がる終わりの2試合だった。

雁レクDのブルーマーリンズ対奈多サンデーズ戦は、レッドサンデーズと引き分け今季初勝ち連1を奪ったブルーマーリンズではあるが、奈良サンデーズはHR攻勢で迎え撃つ。サンデーズは一回裏野々下選手、二回裏長濱選手、三回裏近藤選手、四回裏砂場選手らの毎回HRが飛び出しブルーマーリンズを一蹴。3-5でサンデーズの勝利。

11月3日、福岡ソフトバンクホークスがセ・リーグ王者の広島東洋カープ相手に4勝1敗1分で競り勝ち二年連続の日本一となった。

また今年もセールやパレードで福岡を盛り上げてくれますね。

WSLのHPも盛り上げていきますよ。

